

八幡西区役所の「長崎街道黒崎・木屋瀬キャンぺーン事業」の一環であり(木屋瀬住民の共有財産である歴史的文化財産を活かした「文化の薫るまちづくり」の推進)という開催趣旨のもと始められた(筑前木屋瀬宿場まつり)が本年は来る十一月四日(第一日曜)に開催されます。

今回で早十五回。北九州市政の肝いりで華々しく始められた初回以来回を経るごとに主催団体の組織構成や理念の実体に住民の理解と賛同を得る事が適わず 愈々運営の行き詰まった第八回にして「木屋瀬地区自治区会」との共催 次の第九回にして漸く「自治区会」「商工連盟」「老人

企画内容も 当初からのキヤッチコピー「みんなで踊る



昨年の宿場まつりの様子

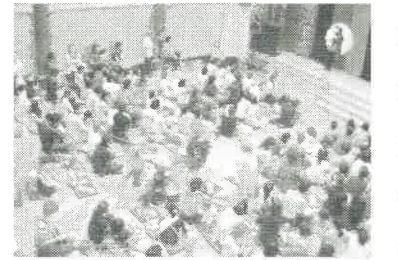
今年の熱さはまだまだ…宿場まつりへと続く

「宿場踊り保存会」「青年会」「商業会」「資料保存会」「街づくりの会」の地元八団体が結成される「宿場まつり実行委員会」の主催へと広く地域全体で取組む組織構成へと推移発展を遂げ 今日に至つ

寄せ太鼓

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会 広報部会
北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16番26号(〒807-1261)
TEL 093-619-1149
FAX 093-617-4949

白象くんがやって来た! 満員御礼



〔こやのせ座〕のハッピーでお馴染みの白象君の物語《白象くんがやって来た》公演が 夏休み初日の七月一日 “本日は お忙しい中 近郷近在はもとより遠方よりも 北九州市の西の果て 昔宿場は筑前木驛の新名所〔こやのせ座〕へ 斯くも多くの方々のご来場賜りました事 誠に有り難く 厚く御礼を申し上げます。

お蔭を持ちまして 誰しもが心打たれる名作【白象くんがやって来た】の〔こやのせ座〕定期公演化に併せ2012年に迎える長崎街道筑前六宿開通(冷水峠)開削400周年に向けたプレ・イベントとしての取組みの第一歩を踏み出す事が叶いました。 此れも一重に、皆様方の深いご理解から為る心温かいご支援・ご協力の賜物と肝銘する次第です。

つきましては 当面の課題である筑前六宿公演の実現化 次なる課題目標とする長崎街道25次公演により「白象くん」を通じて 筑前六宿から長崎街道全域へと住民間の交流と連携・協力の輪が大きく広がることを願い 今一層の熱き思いで取組んで参る所存でございます。 これからも未永くご支援・ご協力を賜りますよう すみからすみまで ず・ず・ずい〜と何卒 宜しくお願い申し上げます。”の挨拶口上で午前・午後の2部にわたり執り行われましたが 1部：193名 2部：260名と云う「こやのせ座」始まって以来の集客で大層な賑いぶりで行われました。 最後に ボランティア協力戴きました出演者：約80名・こやのせ座スタッフ：約20名の方々に深く感謝すると共に 其のボランティア精神に心より敬意を表します。

こやのせ座寄席 納涼落語会



今年も夏休み最後の日曜日の8月26日 福岡教育大学・下関市立大学・梅光学院大学の各落語研究会より選りすぐられた部員6名 及び大学落研OBで北九州教育委員会の神代 明氏(粗忽屋無笑)・佐藤弘毅氏(於家馬亜)・浦田一幸氏(好色亭勘六)・新森修二氏(粗忽屋鉄平)に依る発表・おさらい会が行われ〔こやのせ座〕は落語好きの方や学生約100名が参集して賑いました。戦後日本の”物質文化を万能・至上とする社会的価値観蔓延の陰に失われてきた精神文化”を最大因とする日本人の品格低落を問われる現代に於いて日本人が磨きあげてきた笑いの精神文化「落語」に真摯に取り組む若者たちに接し 私は好ましく嬉しく思いました。 未来を担う若者たちには国際社会に通じる品格とウイットセンスを身に付けてほしいものです。

尚 今回の開催に際し 昨年に続き前教育委員長梅本静一氏ならびに北九州市教育次長神代 明氏のお骨折りに心より感謝し紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

運営部会長 柴田泰助

第二回「木屋瀬の風景」写真コンテスト

前期作品展を開催しました

平成19年7月7日(土)～8月19日(日)

於：みちの郷土史料館

この作品展では、前期の部、応募作品86点をとおして、晩秋から春にかけての木屋瀬の表情をご覧いただきました。また、第一回の入賞作品や、木屋瀬の古写真、昔のカメラや写真用品も展示しました。期間中の来館者は1,612人でした。

ご来館ありがとうございました。

みちの郷土史料館第28回企画展

町並み資料館シリーズ第九弾

「第2回 梅本家展」のご案内

平成19年10月6日(土)～11月18日(日)

今回は再び、江戸時代の船庄屋、梅本家に伝わる貴重な品々をご紹介します。

5年前の梅本家展では展示していない、未公開の書画や漆器を中心に出品していただきます。江戸時代後期に木屋瀬に立ち寄った、亀井昭陽や広瀬旭荘の書など、全国的にも名高い人々との交流を物語る、掛け軸や屏風の数々をご覧いただけます。

皆様のご来館をお待ちしております。

親子で…星に願いを

8月7日親子連れの参加者約100人を集めて、「こやのせ七夕祭り」が行われました。願い事を書いた短冊を笹の葉にきれいに飾りつけ、親子バンドでんとうむしの演奏を聴いた後、望遠鏡で星空散歩を楽しむイベントでした。6時過ぎからバケツをひっくり返したような雨となりましたが、7時半には、すっかり雨が上がり、夕映えのピンクの東空に虹がかかるという素敵な天のプレゼントもありました。次第に空が暗くなると、織姫彦星をへだてる天の川もくっきりと浮かび上がり、満天の星空に恵まれ、子供さんたちと2代の望遠鏡で木星とその衛星を観察しました。ボランティアの方が作られたカラーもおもしろかったです。あの夜勉強した夏の大きな形は、まだ西の空に輝いています。一番明るいのが織姫ベガ、2番目が彦星アルタイル、3番目が天の川に光る北十字、白鳥座のデネブです。秋晴れの夜空を家族で見上げてみませんか？



熱さに負けず

今年も8月13・14・15日の3日間、初盆の家々を踊る木屋瀬盆踊りが行われました。今年も例年になく猛暑の折、参加者の多少が心配されましたが、これまた例年になく多くの方に参加頂き盛大でした。まず、木屋瀬記念館でウォームアップをするように踊りが始めるとじわじわと人が集まり始め、その後、屋台とに連れられて人の波が最初の初盆家へと向かって行きました。



木屋瀬記念館広場で踊る踊り子たち

